



週間情報



No.0746

発行日 令和7年12月2日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

両会の動き

◆ 令和7年度全国消防長会役員会の決定に基づく「令和8年度 消防関係予算の所要額確保に関する要望」を実施

全国消防長会

令和7年11月17日（月）、総務省等において、市川会長及び栗岡財政委員会委員長（神戸市消防局長）から林総務大臣等に対して、令和7年度全国消防長会役員会（令和7年10月31日）の決定に基づく「令和8年度 消防関係予算の所要額確保に関する要望」を実施しました。

実施当日は、林総務大臣、原総務事務次官、大沢消防庁長官、佐藤衆議院総務委員長に直接お会いし要望書を手渡しました。

【消防関係予算の所要額確保に関する要望】

近年、我が国では災害の激甚化・頻発化が一層進行しており、令和7年においても、全国各地で国民の生命・身体・財産を脅かす災害が相次いで発生している。

8月に発生した豪雨災害では、九州地方をはじめ各地で線状降水帯が形成され、土砂災害による人的被害や家屋の浸水被害が広範囲に及んだ。また、林野火災が頻発し、特に岩手県大船渡市で発生した林野火災は、昭和39年以降で国内最大の延焼範囲を記録した。さらに、観測史上最高気温を更新する猛暑の影響により、熱中症による救急搬送が急増し、5月から9月までの救急搬送者数は初めて10万人を超えた。

このような状況の中、消防機関は国民の安全・安心を守る存在としての重要性が一層高まっており、国民から寄せられる期待もますます大きくなっている。

国においては、登録目標隊数の増強や機能強化に向けた部隊の創設等を盛り込んだ「緊急消防援助隊の編成及び施設の整備等に係る基本的な事項に関する計画」の改定、救急業務の迅速化・円滑化を目的とした「マイナ救急」実証事業の全国展開等、消防防災力の充実強化に着実に取り組んでいるところである。

地方においても、安全・安心を守る取り組みを推進しているが、人口減少や社会保障費の増大、加えて近年の物価上昇等により地方財政は依然として厳しく、国によるさらなる財政支援が不可欠である。

については、大規模災害に的確に対応できる常備消防の体制整備並びに地域防災の中核としての役割を担う消防団等の充実をはじめ、消防防災力のさらなる充実強化を図るべく、特に次の事項について強く要望するものである。

1 概算要求額の満額確保について

(1) 林野火災や大規模災害に備えるための消防防災力の充実強化

林野火災等を踏まえた緊急消防援助隊の車両・資機材等の整備、消防庁ヘリコプターの整備、林野火災に係る広報・啓発等モデル事業に係る概算要求額並びに事項要求について、必要な予算額を満額確保すること。

(2) 消防防災分野の新技术・DX推進

競争的研究費の拡充、マイナ救急の全国展開・機能拡充、消防指令システムにおけるAI実証事業等に係る概算要求額並びに事項要求について、必要な予算額を満額確保すること。

(3) 緊急消防援助隊の充実強化

緊急消防援助隊の全国合同訓練、緊急消防援助隊への救助技術の高度化及び普及事業、緊急消防援助隊設備整備費補助金等に係る概算要求額並びに事項要求について、必要な予算額を満額確保すること。

(4) 消防団等の充実強化

消防団の力向上モデル事業、消防団ドローン・DX推進事業、救助用資機材等の整備に対

する補助等に係る概算要求額並びに事項要求について、必要な予算額を満額確保すること。

(5) 常備消防等の充実強化

消防防災施設整備費補助金、市町村の消防の広域化及び連携・協力の推進、ドローン活用人材育成事業等に係る概算要求額について、必要な予算額を満額確保すること。

(6) 火災予防対策の推進

感震ブレーカーの購入・取付支援、住宅防火対策等の推進、火災予防の実効性向上及び規制体系の再構築等に係る概算要求額並びに事項要求について、必要な予算額を満額確保すること。

(7) その他の消防活動に必要な経費について

上記(1)～(6)に加え、自治体の災害対応能力・国民保護体制の強化、消防防災分野における女性や若者の活躍推進、被災地における消防防災体制の充実強化に係る概算要求額並びに事項要求について、必要な予算額を満額確保すること。

2 地方交付税の所要額の確保について

近年の物価上昇等の情勢を踏まえ、消防に係る財政需要を地方財政計画への確に反映させ、必要な経費が安定的に措置されるよう、地方交付税等の一般財源総額を確保すること。また、引き続き消防費に係る単位費用を適正に算定し、基準財政需要額に反映させること。



【左から、市川会長、林総務大臣、
栗岡財政委員会委員長】



【左から、市川会長、大沢消防庁長官、
栗岡財政委員会委員長】

◆ 令和7年度全国消防長会技術委員会第2回常任委員会を開催

全国消防長会技術委員会

令和7年11月13日（木）、香川県高松市（リーガホテルゼスト高松）において、令和7年度全国消防長会技術委員会第2回常任委員会を開催しました。

会議の議案等は、次のとおりです。

【議題】

- 1 通信障害に対する体制強化について
- 2 令和8年度第2回常任委員会の開催地について
- 3 第105回全国消防長会技術委員会の開催地について
- 4 第106回全国消防長会技術委員会の開催支部について

【情報交換】

- 1 水道管浅層化の環境下における最適な消火栓活用要領について
- 2 熱中症対策用資機材等について

【報告事項】

- 1 ISO/TC94/SC14（消防隊員用個人防護装備）国際会議（オーストラリア）の結果について

【情報提供】

- 1 新型三連はしご導入に向けた検討状況について
- 2 消防隊員用個人防火装備に関するガイドラインと国際規格（ISO）について

※ 会議資料は、後日、情報管理システムの電子掲示板内に掲載します。



【島田委員長あいさつ】



【常任委員会の様子】

◆ 第42回全国消防長会警防防災委員会を開催

全国消防長会警防防災委員会

令和7年11月13日（木）、島根県浜田市（島根浜田ワシントンホテルプラザ）において、第42回全国消防長会警防防災委員会を開催しました。

会議の議題などは、次のとおりです。

【情報交換】

- 1 公共安全モバイルシステムを活用した現場活動について
- 2 警防活動時における安全管理体制について
- 3 消防車両などの対空標示について
- 4 火災などの災害活動における消防隊員の熱中症対策について
- 5 消防力強化に向けた民間事業者との協力体制について
- 6 災害発生を疑う事案への対応について
- 7 リチウムイオン電池(モバイルバッテリーなど)からの出火における活動について
- 8 消防活動に伴う市民物品の破損事故と防止策について

【情報提供】

- 1 最新の消防情勢
- 2 令和8年度消防庁予算概算要求について
- 3 石川県消防情報共有システム「デジタルを活用した新たなシステム構築に関する取り組み」
- 4 大阪・関西万博 開催結果について
- 5 消防研究センターの体制と事業概要について
- 6 一般財団法人日本消防設備安全センターからのお知らせ
- 7 防火服などの自主管理の概要

【その他】

次期開催地について



【警防防災委員会の様子】

◆ 令和7年度全国消防長会救急委員会秋季常任委員会を開催

全国消防長会救急委員会

令和7年11月14日（金）、沖縄県中頭郡（エリスリーナ西原ヒルズガーデン）において、令和7年度全国消防長会救急委員会秋季常任委員会を開催しました。

会議の議案などは、次のとおりです。

【消防庁講話】

「救急業務の現状と課題」

【審議事項】

- 1 「令和8年度救急車適正利用PRポスター」について
- 2 令和8年度全国消防長会救急委員会秋季常任委員会の開催地について

【情報交換】

- 1 医療機関引継ぎ時の署名等の対応について
- 2 救急隊員の暑熱対策装備品について
- 3 頻回利用者の対応について
- 4 熱中症保険に伴う救急搬送証明書の交付について

【情報提供】

- 1 救急受入れ情報の共有による医療機関との連携体制の構築について
- 2 救急振興財団の事業等について



【坂上委員長あいさつ】



【消防庁講話の様子】

◆ 「11月10日は住宅用火災警報器のイイテンケンの日」岡山下14消防本部合同で街頭啓発を実施

岡山県消防長会（岡山）

岡山県消防長会では、令和7年11月10日（月）、JR岡山駅前（岡山市北区駅元町）において、「11月10日は住宅用火災警報器のイイテンケンの日」キャンペーンの一環として、岡山下14消防本部と合同で、街頭啓発を実施しました。

この取り組みは、住宅用火災警報器の設置義務化から10年以上が経過し、機器の故障や電池切れが発生する可能性が高いことから、住民に対し定期的な点検を促すことで、火災による死者の減少を図ることを目的として、令和4年から毎年実施しているものです。

当日は、初めての試みとして、岡山下14消防本部の職員がJR岡山駅前に集結し、各消防本部の防火衣を着用して街頭啓発を実施しました。

今後も、より多くの方に広報していくため、効果的な媒体であるマスメディアに取り上げられるような話題性のある広報活動を行い、火災による死者の減少を目指してまいります。



【街頭啓発の様子】



【集合写真】

消防本部の動き

訓練

◆ 救急隊訓練を実施

中津川市消防本部（岐阜）

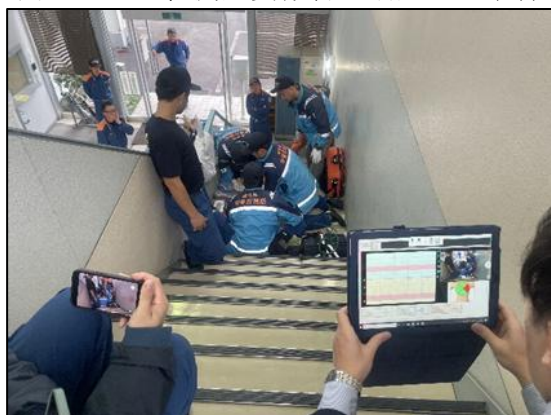
中津川市消防本部では、令和7年11月5日（水）、6日（木）の2日間、西消防署において、中津川市民病院、日本光電工業株式会社、株式会社高研にご協力いただき、救急隊訓練を実施しました。

この訓練は、質の高いCPRと特定行為を行うことを目的として実施したものです。

当日は、狭隘な現場でもCCF（胸骨圧迫時間比）が80%以上を目標とし、両社からお借りしたリアルタイムにCPRの質を測定できる資機材を活用しながら訓練を実施しました。

また、訓練後には、データと映像を用いた振り返りを行い、同病院の病院前救急診療科松本医師から救急活動について、ご教授いただきました。

CPRの質は、測定なくして改善はありません。今後も、傷病者の社会復帰を目標に、CPRの質の向上のため、測定資機材を活用した訓練を継続してまいります。



【訓練の様子】



【記念撮影の様子】

◆ 「令和7年度実戦ポンプ操法大会」を実施

豊中市消防局（大阪）

豊中市消防局では、令和7年11月5日（水）、6日（木）、7日（金）の3日間、「令和7年度実戦ポンプ操法大会」を実施しました。

この訓練は、火災現場における小隊長の的確な判断力と臨機応変に対応するための知識・技能を習得するとともに、隊員によるホース延長技術や放水技術の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、ポンプ操法大会に向けて約2か月にわたり、火災活動における基本技術訓練を繰り返し行い、その訓練成果を遺憾なく発揮しました。

今後も、迅速で安全な活動を目指すため、消防職員として求められる戦術を習得するとともに、的確な判断力の向上に励んでまいります。



【大会の様子】

◆ 建設業協会と合同で土砂災害対応訓練を実施

城陽市消防本部（京都）

城陽市消防本部では、令和7年11月10日（月）、市内事業所の敷地において、城陽市建設業協会と合同で、土砂災害対応訓練を実施しました。

この訓練は、令和7年8月1日（金）、同建設業協会と締結した「災害時における消防活動の協力に関する協定」に基づき、災害現場における情報共有体制を構築するとともに、重機を用いた救助活動の連携強化を図ることを目的として、初めて実施したものです。

当日は、実践的な訓練を実施し、同建設業協会に応援要請する際に必要な情報共有について確認することができました。

今後も、さまざまな災害に対応できるよう、定期的な合同訓練に取り組んでまいります。



【訓練の様子】

◆ 陸上自衛隊第13飛行隊と合同訓練を実施

防府市消防本部（山口）

防府市消防本部では、令和7年11月10日（月）、陸上自衛隊第13飛行隊と林野火災を想定した合同訓練を実施しました。

この訓練は、近年、林野火災の大規模化・長期化が懸念されていることから、自衛隊との連携強化を図るとともに、大規模林野火災が発生した際に効果的な消火活動を行うことを目的として実施したものです。

当日は、消防隊が消火栓からファイヤーフレックスタンク（30,000ℓ）への給水活動を行ったほか、同飛行隊がバンビバケット（約500ℓ）による取水・散水活動を実施し、連携した消火活動を再確認しました。

この訓練を通じて、自衛隊との情報共有と空・地上それぞれの活動に対する相互理解がさらに深まり、実災害時における協力要領を確認する貴重な機会となりました。

消防と自衛隊が緊密に連携することで、より迅速で的確な災害対応の体制を構築することが期待されることから、今後も連携訓練を継続し、災害発生時の対応力の向上につなげてまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

◆ 「地下閉鎖空間」を想定した救助訓練を実施

北秋田市消防本部（秋田）

北秋田市消防本部では、令和7年11月11日（火）、地下閉鎖空間を想定した救助訓練を実施しました。

この訓練は、地下閉鎖空間における危険要因を把握するとともに、隊員の現場対応力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、新たに設置される充水前の防火水槽を活用し、低所への進入要領や救助器具の取り扱い要領を確認した後、「地下槽内に作業員が数人取り残されている。」との想定で訓練を実施しました。

今後も訓練を継続し、市民の安全・安心な暮らしを確保するとともに、災害対応能力のさらなる強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 事業所と合同訓練を実施

雲南消防本部（島根）

雲南消防本部では、令和7年11月12日（水）、秋季全国火災予防運動の一環として、島根県生コンクリート工業組合の森島建設株式会社と合同訓練を実施しました。

この訓練は、平成29年5月に島根県と同工業組合が締結した「災害時における消防水等の供給支援に関する協定書」に基づき、同工業組合との連携強化を図るとともに、災害発生時において、安全かつ円滑な活動を行うことを目的として実施したものです。

当日は、同社の従業員からコンクリートミキサー車の構造についてご説明いただいた後、コンクリートミキサー車から簡易防火水槽への補水訓練を実施しました。

この訓練を通じて、消防活動への支援要請から支援活動までの一連の流れを確認することができたほか、水利確保が困難な地域における火災などにおいても、継続した消火活動が可能であることを再認識しました。

今後も訓練を継続し、現場活動能力の向上と協力機関との連携強化を図るとともに、住民サービスの向上と災害による被害の軽減に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 災害時における消防用水の供給支援訓練を実施

天草広域連合消防本部（熊本）

天草広域連合消防本部では、令和7年11月12日（水）、上天草市大矢野町総合スポーツ公園において、秋季火災予防運動の一環として、災害時における消防用水の供給支援訓練を実施しました。

この訓練は、令和7年6月に天草地区生コンクリート協同組合と当消防本部が締結した「災害時における消防用水の供給支援に関する協定」に基づき、災害現場において各関係機関が安全かつ円滑な消防活動を行うことを目的として実施したものです。

当日は、消防団員208人も参加し、コンクリートミキサー車への給水要領と簡易水槽への補給要領を確認しました。

今後は、訓練を継続し、地域住民の安全・安心の確保のため、災害対応力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 警察本部と土砂災害対応合同訓練を実施

羽咋郡市広域圏事務組合消防本部（石川）

羽咋郡市広域圏事務組合消防本部では、令和7年11月14日（金）、石川県羽咋郡宝達志水町針山地内の土砂災害対応訓練施設において、石川県警察本部と土砂災害対応合同訓練を実施しました。

この訓練は、近年頻発する土砂災害に備えるため、警察機関との連携強化と迅速・的確な災害対応能力の向上を図るとともに、警察との垣根を越えた情報共有体制を構築することを目的として実施したものです。

当日は、午前には人命検索、応急土留め、掘削土砂排出、トレンチレスキューなどの技術訓練を行った後、午後には、災害発生から救助完了までの一連の流れで、警察機関との連携を重視した実践的な対応訓練を実施しました。

今後も、関係機関との連携強化を図るとともに、地域住民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

研 修

◆ 「共創広報研修会」を開催

愛媛県中予地区消防長会（愛媛）

愛媛県中予地区消防長会（松山市消防局、伊予消防等事務組合消防本部、東温市消防本部、久万高原町消防本部）では、令和7年11月10日（月）、「共創広報研修会」を開催しました。

当日は、横浜市消防局総務部企画課担当係長の御所脇佑介氏を講師としてお招きし、先進的な取り組みについて、ご自身の体験談とともにご講演いただき、戦略的広報と共創連携について学ぶことができ、大変貴重な経験となりました。

今後も、この研修会で学んだことを生かし、民間企業との共創活動に力を入れ、広報活動を推進してまいります。



【研修会の様子】

そ の 他

◆ 消火協力者に消防長から感謝状を贈呈

土岐市消防本部（岐阜）

土岐市消防本部では、令和7年11月17日（月）、消火協力者（土岐市建設業組合員）の5人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました

本事案は、同年9月27日（土）、市内で発生した建物火災において、火災を発見した消防協力者の5人が連携して、消防隊が到着するまでに消火栓からホースを延ばして放水を行いました。この迅速な初期消火活動により、火災による建物の全焼を防ぎ、無事鎮火に至りました。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 「久米川ウイングホテル」に優マークを交付

東京消防庁（東京）

東京消防庁東村山消防署では、令和7年11月4日（火）、「久米川ウイングホテル」に優マークを交付しました。

当該ホテルは、今年で創業35年を迎え、西武新宿駅から急行で約30分の東村山市内に位置し、観光客だけでなくビジネスパーソンや受験生にも多く利用されています。

また、優良防火対象物の認定制度が発足する前から安全な建物の維持管理に努めており、平成19年12月5日に東村山消防署管内の宿泊施設で初めて優良防火対象物の認定を受け、18年もの長きにわたり、継続して更新されています。

当日は、当該ホテル社長の野村氏に対して、優良防火対象物認定通知書を交付し、野村氏は、「今後も防火・防災に努め、お客さまに安心して泊まっていただけるホテルにしたいと思います。」と述べられました。



【交付後の記念撮影】

◆ 「第10回道後温泉周辺地区合同防災訓練」を実施

松山市消防局（愛媛）

松山市消防局では、令和7年11月4日（火）、秋季全国火災予防運動を迎えるに当たり、「第10回道後温泉周辺地区合同防災訓練」を実施しました。

当日は、「大規模災害が発生し、県外や海外からの旅行者などが帰宅困難になった。」との想定で、宿泊施設間における帰宅困難者受け入れ応援の調整や人力車による負傷者搬送など、地域特性を生かした訓練を実施しました。

また、アイルランド、中国、韓国、台湾出身のALT（外国語指導助手）が参加し、初の試みとして、多言語表記のフリップボードを使った避難誘導や32か国語対応の電話通訳サービスを活用した外国語による119番通報などを行い、インバウンド対応にも力を入れた訓練内容としました。

今後も、道後温泉周辺の関係機関と消防が一体となり、「世界一安全・安心なおもてなしのまち」を目指してまいります。



【電話通訳サービス利用の様子】



【人力車による負傷者搬送の様子】

◆ 「消防ファミリーふれ愛デー2025」を開催

小山市消防本部（栃木）

小山市消防本部では、令和7年11月8日（土）、消防職団員の家族を対象とした、「消防ファミリーふれ愛デー2025」を開催しました。

このイベントは、消防職団員の家族に消防業務への理解を深めていただき、家族間でより良いコミュニケーションを取るとともに、消防職団員の業務に対するモチベーションの向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、庁舎・車両見学ツアー、はしご車搭乗体験、放水体験、消防車両搭乗体験を行い、多くの参加者が喜んでいる姿を見ることができました。

今後も、家族の支えに感謝し、消防職団員の業務に対する意欲の向上に努めてまいります。



【イベントの様子】

◆ 「消防フェスティバル2025」を開催

千曲坂城消防本部（長野）

千曲坂城消防本部では、令和7年11月8日（土）、庁舎敷地内において、地域住民および児童などを対象に「消防フェスティバル2025」を開催しました。

このイベントは、消防・防災の体験型イベントを通じて、防火・防災思想の普及啓発と消防行政への理解を深めることを目的として開催したものです。

当日は、500人を超える来場者が訪れ、当消防本部救助隊による訓練展示を行ったほか、消防車両展示、はしご車搭乗体験、ロープ渡過体験、放水体験、子ども用消防服着体験、AEDを活用した応急手当体験などのコーナーを設け、笑顔あふれる大盛況なイベントとなりました。

今後も地域住民の方々に対する啓発活動を実施してまいります。



【イベントの様子】

◆ 「第37回八尾市幼年消防クラブ防火フェスティバル」を開催

八尾市消防本部（大阪）

八尾市消防本部では、令和7年11月8日（土）、八尾市立総合体育館「ウイング」において、秋季全国火災予防運動を迎えるに当たり、「第37回八尾市幼年消防クラブ防火フェスティバル」を開催しました。

当日は、同幼年消防クラブの4つの園から年長園児175人が参加し、八尾市長に対して「火遊びはしません。」と防火の誓いを宣言した後、かわいいコスチュームに身を包んだ園児たちが、小太鼓・大太鼓などを操りながら見事なドリル演奏を披露し、日頃の練習成果を十分に発揮しました。



【防火フェスティバルの様子】

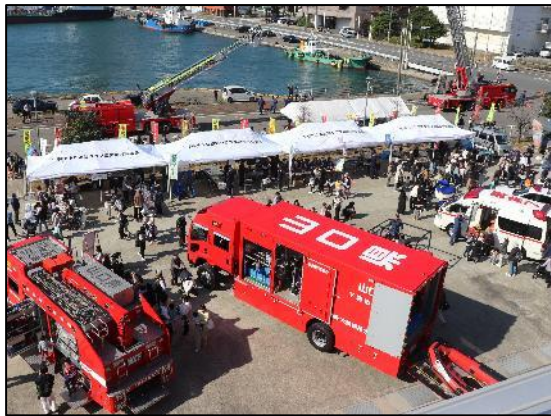
◆ 「防災フェア2025」を開催

下関市消防局（山口）

下関市消防局では、令和7年11月8日（土）、一般財団法人日本防火・防災協会および下関市防災協会と共催で、「防災フェア2025」を開催しました。

この防災フェアは、「安全で安心なまちづくり」をスローガンに、防火・防災意識の普及を図ることを目的として開催したもので、今年で33回目となります。

当日は、消防クラブ員をはじめ、多くの一般来場者が参加し、消火競技大会などの防災に関する体験型のコーナーを設け、子どもから大人まで、防火・防災について楽しみながらも学んでいただきました。



【防災フェアの様子】

◆ 「Tomikan消防フェスティバル」を開催

富岡甘楽広域消防本部（群馬）

富岡甘楽広域消防本部では、令和7年11月9日（日）、「Tomikan消防フェスティバル」を開催しました。

このイベントは、地域住民に対し、職員との触れ合いを通じて、消防活動への理解を深めていただくとともに、防災意識の向上を図ることを目的として開催したものです。

当日は、管内小学生から募集し最優秀賞に選ばれたスローガン「見てみよう！やってみよう！いざというときの防災体験！！」の下、消火器体験、消防車搭乗体験、放水体験、濃煙体験を行ったほか、防火ポスター展示や防火ポスターの入賞者への表彰式などを実施しました。

また、地元高校生にボランティアとしてご協力いただき、廃棄する消防服のアップサイクルや案内看板を作成していただいたほか、受付や案内などを行っていただきました。

このイベントを通じて、消防業務がPRできたほか、参加した方々の楽しむ様子やボランティアで参加した高校生の積極的な活動が職員の励みとなりました。



【イベントの様子】



【高校生ボランティアの方々】

◆ 最優秀賞受賞者に対して表彰状を贈呈

直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部（福岡）

直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部では、令和7年11月10日（月）、鞍手町立新延小学校において、「令和7年消防・救急ポスターコンクール」の最優秀賞受賞者に対して、表彰状を贈呈しました。

このコンクールは、秋季全国火災予防運動を迎えるに当たり、宮若市・小竹町・鞍手町の小学4年生を対象に消防・救急ポスターを募集し、11校計362点の応募作品の中から最優秀賞1作品、優秀賞5作品、入選6作品を選考したものです。

最優秀賞受賞者は、「お母さんと一緒に料理をしているところを書きました。テレビに気をとられ、コンロから目を離さないようにという想いで作りました。」と述べていました。

最優秀賞受賞ポスターは、1年間広報活動に活用してまいります。



【表彰状贈呈の様子】



【最優秀賞受賞者と受賞作品】

◆ 「119番通報カード」と「救急需要対策ポスター」を配布

茨木市消防本部（大阪）

茨木市消防本部では、令和7年11月12日（水）、茨木市をホームタウンとするJリーグ・ガンバ大阪にご協力いただき、「119番通報カード」と「救急需要対策ポスター」を制作し、市内小中学校に配布しました。

このカードとポスターは、増加する救急需要への対策を図ることを目的として、以前に「救急安心センターおおさか」の啓発動画にご出演いただいた、ガンバ大阪のGK一森 純選手をモデルとして抜擢し、制作したものです。

同カードでは、119番通報のポイントをわかりやすくまとめ、25,000枚を児童と生徒に配布し、同ポスターは、救急車の適正利用を呼びかけるため、各学校に掲示していただきます。

これらの取り組みを通じて、子どもたちや家族が救急車の適正利用について考えるきっかけになることを期待しています。

今後も、ガンバ大阪と連携し、市民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【119番通報カード】



【一森選手と救急需要対策ポスター】

◆ 防火広報を実施

豊田市消防本部（愛知）

豊田市消防本部では、令和7年11月12日（水）、13日（木）、14日（金）の3日間、秋季全国火災予防運動の一環として、防火広報を実施しました。

これは、こども園の園外散歩に職員が同行し、園児とともに防火広報を行うことで、地域全体の防火意識の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、園児たちが元気いっぱいに「火の用心！」と呼びかけ、通りがかった地域住民の方々も笑顔で応えるなど、明るく温かい広報活動となりました。

また、園児に対して、火遊びの危険性や火災の怖さなどについて説明し、園児からは、「火の怖さが分かりました。」、「家でも火の用心って言います。」など頼もしい声を聞くことができました。

同火災予防運動期間中は、交通量が多い道路に面する庁舎の壁体を活用し、プロジェクターを用いた防火広報も行い、通行する多くの方々に対する効果的な防火啓発も実施しました。

今後も、地域や教育機関と連携し、地域ぐるみの安全なまちづくりに努めてまいります。



【防火広報の様子】



【プロジェクターを用いた防火広報】

◆ 「うるま市ふれあい消防フェスタ」を開催

うるま市消防本部（沖縄）

うるま市消防本部では、令和7年11月14日（金）、うるま市幼年少年女性防火委員会と共催で、市内の5歳児を対象とした、「うるま市ふれあい消防フェスタ」を開催しました。

このイベントは、幼年期における防火教育のため、楽しみながら防火について学んでいただくことを目的として、毎年実施しているものです。

当日は、35団体計688人の幼児が参加し、煙体験、ストップ・ドロップ&ロール体験、バケツリレー体験、○×クイズなど8つのコーナーを設け、防火について学んでいただきました。

今後も、幼年期における防火教育を継続し、将来の災害に備えるため、防火意識の高揚に努めてまいります。



【イベントの様子】

◆ 「消防フェア２０２５」を開催

相馬地方広域消防本部（福島）

相馬地方広域消防本部では、令和７年１１月１５日（土）、南相馬市防災センターにおいて、市民を対象とした、「消防フェア２０２５」を開催しました。

当日は、天候にも恵まれ、子供たちや家族連れなどの多くの方々が参加し、同防災センターに併設する消防庁舎見学と消防車両見学を行ったほか、子供用防火衣を着装した記念撮影、レスキュー体験（ロープ渡り）、消火放水体験、救急体験などの各種コーナーを設け、スタンプラリー形式で楽しんでいただきました。

また、隊員による訓練塔屋上（高さ１５ｍ）からのロープ降下、ロープブリッジ救出、事故車両からの救出訓練を実施したほか、消防車両からの一斉放水を披露し、多くの方々に消防活動への理解と関心を高めていただく良い機会となりました。

今後も職員一同、地域の安全・安心の確保に取り組んでまいります。



【消防フェアの様子】

◆ オリジナルレジ袋を用いた広報活動を実施

生駒市消防本部（奈良）

生駒市消防本部では、令和７年１１月１０日（月）から１５日（土）までの期間中、高山製菓株式会社にご協力いただき、秋季全国火災予防運動の一環として、警察機関および企業と共同でオリジナルレジ袋を制作し、防災・防犯を呼びかける広報活動を実施しました。

このレジ袋は「ともに守る生駒」をコンセプトとして、生駒警察署と当消防本部の啓発サイトが読み取れる二次元コードを印刷したもので、３機関による共同制作は奈良県内で初の試みとなりました。



【警察・企業との記念撮影】



【オリジナルレジ袋】

◆ 「防火ぬり絵」を展示

埼玉東部消防組合消防局（埼玉）

埼玉東部消防組合消防局では、令和7年11月7日（金）から16日（日）までの期間中、秋季全国火災予防運動の一環として、管内の幼稚園や保育園などの園児が制作した「防火ぬり絵」を展示しました。

期間中は、75園計2,050人の園児が「防火ぬり絵」を制作し、店舗展示を希望した作品計1,373枚を管内の大型商業施設に展示しました。

このイベントを通じて、幼少期における防火思想の普及を図るとともに、自由な発想によって彩られた鮮やかな「防火ぬり絵」を展示したことで、ご家族や地域の方々に火災予防の普及啓発を図ることができました。



【防火ぬり絵制作の様子】



【展示の様子】

◆ 「消防フェスタ2025」を開催

薩摩川内市消防局（鹿児島）

薩摩川内市消防局では、令和7年11月16日（日）、「消防フェスタ2025」を開催しました。

このイベントは、市民から親しまれ信頼される消防機関を目指すとともに、火災予防思想のさらなる普及啓発を図り、安全で安心して暮らせる地域社会の実現につなげることを目的として開催したものです。

当日は、1,100人以上の家族連れが参加し、車両の搭乗体験や展示、放水体験を実施したほか、「ホースボウリング」と廃棄ホースを活用した「コースター作り」を初めて企画し、体験した方々から大変ご好評いただきました。

消防フェスタを通じて、子どもたちが楽しみながらも真剣に取り組む姿が見られたほか、現場活動、訓練、資機材について職員へ質問する場面も多く見られ、消防の仕事をより身近に感じていただく良い機会となりました。

今後も、地域住民との顔の見える関係づくりを大切にするとともに、災害に強いまちづくりに努めてまいります。



【ホースボウリングの様子】



【記念撮影の様子】

消防庁通知等

◆ **石油コンビナート等特別防災区域の変更に係る防災体制について（通知）**

（消防特第232号、令和7年11月21日）

消防庁特殊災害室長、経済産業省産業保安・安全グループ高圧ガス保安室長から関係都道府県消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

石油コンビナート等特別防災区域を指定する政令の一部を改正する政令（令和7年政令第386号）及び石油コンビナート等特別防災区域に係る区域の指定の一部を改正する件（令和7年総務省・経済産業省告示第2号）が本日公布され、令和7年11月22日に石油コンビナート等特別防災区域の変更が行われます。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/251121_tokusail.pdf）に掲載されています。

◆ **広域共同防災組織を設置することができる区域の変更に係る防災体制について（通知）**

（消防特第233号、令和7年11月21日）

消防庁特殊災害室長から関係都道府県消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

石油コンビナート等災害防止法施行令の一部を改正する政令（令和7年政令第385号）及び石油コンビナート等特別防災区域を指定する政令の一部を改正する政令（令和7年政令第386号）が本日公布され、令和7年11月22日に広域共同防災組織を設置することができる区域の変更が行われます。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/251121_tokusai2.pdf）に掲載されています。

◆ 危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示の一部を改正する件及び石油パイプライン事業の事業用施設の技術上の基準の細目を定める告示の一部を改正する件の施行について

(消防危第242号、令和7年11月21日)

消防庁危険物保安室長から関係都道府県消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示の一部を改正する件（令和7年総務省告示第369号）及び石油パイプライン事業の事業用施設の技術上の基準の細目を定める告示の一部を改正する件（令和7年総務省、経済産業省、国土交通省告示第2号）が本日公布されました。
—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/251121_tokusai3.pdf) に掲載されています。

【連絡先】

消防庁危険物保安室企画係

担当：石野、鈴木

TEL：03-5253-7524

FAX：03-5253-7534

◆ 「警防活動時等における安全管理マニュアル」の一部改正について

(消防消第514号、令和7年11月25日)

消防庁消防・救急課長から各都道府県消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

本年2月の大船渡市林野火災を踏まえ、消防庁では、「大船渡市林野火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会」を開催し、報告書を取りまとめたところです。

本報告書では、滑落、落石、倒木、野生動物対策をはじめ、遭難や火煙に囲まれる危険性までも想定した安全管理対策が求められるため、山間地特有の安全管理対策について対応要領の整理と周知を行うことを提言されています。

消防庁では、各消防本部において安全管理マニュアルを整備する上で参考にさせていただくため、林野火災時の安全管理も含む「警防活動時等における安全管理マニュアル」を示しているところですが、大船渡市林野火災における教訓を踏まえ、別紙のとおり当該マニュアルを一部改正いたしました。（別紙省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/251125_shoukyu514.pdf) に掲載されています。

消防庁消防・救急課

職員第一係 小川・能登

TEL：03-5253-7522

E-mail：shokuin@soumu.go.jp

報道発表

◆ 「令和7年度石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト」の結果および表彰式の実施

(令和7年11月25日、消防庁)

石油コンビナート等における特定事業所の防災要員の技能及び士気の向上を図るため、標記の技能コンテストを実施しました。

出場された 35 組織から、最優秀賞、優秀賞、奨励賞及び特別賞を決定しましたので別紙 1 のとおり発表します。

また、最優秀賞、優秀賞及び奨励賞（上位 1 組織）の受賞組織には表彰式を 12 月 12 日（金）に開催しますので、併せてお知らせします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/5a9ab225ca849cda65e3240e21af75140c4b6c7a.pdf>) に掲載されています。

(連絡先) 消防庁特殊災害室
担 当 山口、三原、嶋田
電 話 03-5253-7528 (直通)
E-mail tokusaishitsu_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。
送信の際には、「@」に変更してください。

◆ 令和6年（1～12月）における火災の状況（確定値）

(令和7年11月25日、消防庁)

令和6年中の火災の状況について、1月から12月までの確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

前年と比較すると、総出火件数、火災による死者数ともに減少しています。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/20251125boujyo.pdf>) に掲載されています。

【担当】
消防庁国民保護・防災部防災課防災情報室 池町、田中、津辻
(代 表) TEL : 03-5253-5111
(直 通) TEL : 03-5253-7526
E-mail : bgm-boujo_atmark_ml.soumu.go.jp
※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。
送信の際には、「@」に変更してください。

情報提供**◆ 令和８年春の火災予防運動用ポスター等のあっせん等について****一般財団法人全国消防協会**

一般財団法人全国消防協会では、防火意識の普及啓発の推進を目的に、毎年春と秋の火災予防運動の時期に併せて、全国の消防本部に火災予防運動用ポスター等のあっせんを行っております。

令和８年春の火災予防運動用として、下記のとおりポスター等をあっせんいたしますので、貴消防本部の火災予防運動にぜひご活用ください。

記

- 1 令和７年度全国統一防火標語
『急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし』
- 2 あっせんするポスター等

種 別	大判ポスター (B 2)	ポスター (B 3縦型)	ポスター (B 3横型)	立看板用 ポスター	防火チラシ
記 号	N－１ S－１	N－２ S－２	S－３	N－３	N－４

- 3 申込方法
所定の申込書により、FAXまたは郵送にて直接業者にお申込みください。
- 4 申込先
熊谷印刷株式会社
〒１３５－００５２ 東京都江東区潮見２－３－４
TEL ０３－６６５９－８１０２ FAX ０３－６６５９－８１０７
- 5 申込締切日
令和７年１２月２３日（火）業者必着
- 6 その他
種別・価格等の詳細は、各消防本部あてに発送したご案内文書（令和７年１２月１日付全消協第２１５号）および一般財団法人全国消防協会ホームページのポスター等の見本をご確認ください。

【問い合わせ先】

業務課

担当：岩澤、石井(健)、鳥谷部

電話：０３－４５００－６６２２

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0716）1ページ、機関誌「ほのお」2025年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」担当：企画課 中西

原稿データは、kikakoho@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 中西

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者からメールを返信させていただきます。

TEL：03-4500-6622「週間情報」担当：企画課 吉田

原稿データは、weekly@fcj.gr.jpに送信願います。